

(別紙⑧)

① 市政に対する市民からの主な意見、要望、提言等（抜粋）

【田沼会場】

(1) 人口減少対策について

- ① 空き家対策を含めて中山間地域に個人住宅を建てるなどして人口が増える計画をして欲しい。
- ② 晩婚化して生活が豊かになり生活優先になっているが、若い夫婦に住んでもらうには地元での仕事の確保、待機児童対策などの生活環境を向上させることが必要ではないか。
- ③ 佐野市で行っている婚活パーティーを通じてカップル誕生へ積極的に取り組んでいただきたい。
- ④ 市民活動による地域づくりや協働によるまちづくりをさらに推進して欲しい。
- ⑤ 統廃合で学校の跡地をインターネットの拠点（wi-fi）として整備する。
- ⑥ 自分たちは地域で何ができると考えたときに、大人、高齢者を活かすような展開を考えて欲しい。
- ⑦ 結婚を推進するため、独身者に寮を提供する企業を免税するとか、一戸建てに住むことで子どもを増やすために土地を提供する。
- ⑧ わがまちは魅力があり住みやすいまちであることを、もっとPRすべきである。
- ⑨ 独居の高齢の方が安心して暮らせるようにしていければよいと思う。
- ⑩ 小学校・中学校の子ども達に佐野市の素晴らしさを教育し、佐野市の高校に通い、佐野市の企業に就職して職場で結婚し、佐野市で家庭や家を持つことが大切である。
- ⑪ 佐野市で起業し、佐野市に住んでくれる人が増えるための支援が必要である。

(2) 自由討議

- ① 出産祝い金は第3子からではなく、第2子から贈ってもよいのではないかと考える。
- ② 中山間地域では、「買物難民」が発生している。市はどのような形で対策を考えて欲しい。
- ③ 「若者のコミュニティーへの意識」を改革する方策を考える必要があるのではないかと。
- ④ 市民活動による地域づくりや協働によるまちづくりをさらに推進して欲しい。
- ⑤ 罾をかけたのは自分なのに、お金持っていくのは猟銃を持っている猟友会。これでは普及しない。
- ⑥ 太陽光発電設備設置について、土砂災害があったり、景観もかなり阻害されている。これから高齢化により土地を手放す人が多くなると思われるので、それを踏まえ条例の制定を進めて欲しい。
- ⑦ 閑馬、下彦間、梅園も、ケーブルテレビの増設などがあれば住民も議会活動をよく見られる。
- ⑧ ラーメン屋さんを集約した商業施設を作ったらどうか。
- ⑨ 中山間地域の学校が廃校になった場合に、コミュニティセンターや公民館を作ってほしい。
- ⑩ 安定した政治が必要であると思うので、安定した政治を築いていただきたい。

【佐野会場】

(1)人口減少対策について

- ① 他市では縁結びの「結び課」として専属職員がいる。本市でも取り組むべきではないか。
- ② 若い人は結婚したいと思わない人が多い。独身税をかけて結婚を促してはどうか。
- ③ 企業誘致をして欲しい。雇用の発生、定住とつながり出生率が高くなる。
- ④ 学生が奨学金を借りて佐野市で仕事をした場合、返済免除制度（全額）が良いのではないか。
- ⑤ 子供に対する支援が必要だ。これまで高齢者に対する政策が強かった。
- ⑥ 保育所へ預ける人は税金を使う。家庭で保育している場合への補助対象とすべき。
- ⑦ 男の人の年収が350万円、共働きしないといけない。子供を預けるところがない。祖父母がいると放課後児童クラブには入れない。その辺をなんとかしてもらいたい。
- ⑧ 今まで高齢者にあつく対応していたので、これからは若い人になんとかしてもらえたらと思う。高齢者を切り捨てるというわけではない。
- ⑨ 佐野市が若い人に魅力的になって欲しい。IT活用や、空き家を活用して芸術家をよんで芸術家のまちにしたり、職人をよんで職人のまちにしたり、できるだけ要望を聞いていただいて2つくらい可能なものを取り上げてもらいたい。
- ⑩ 佐野市から若い人が出て行くことを食い止めるには、選ばれるような市にならないといけない。シティプロモーションを確認し他の市に比べ佐野市が素晴らしく、選ばれる市になれば若い人が佐野市を見直して、他の市に出て行かないし、一度出て行った人が佐野市に戻ってくる。また、観光に訪れた人が素晴らしい事を実感し佐野市に移住してくれるようになると思う。
- ⑪ 要因は少子化・晩婚化・未婚化の3つ。市としても婚活に対し、積極的に支援をし、本当は教育は無償であるべき。
- ⑫ シンボルや歴史の発信等、明確に出していくことが必要である。
- ⑬ 災害の少ない佐野市のPRが大切である。

(2)自由討議

- ① 働き手が足りなくなっている、外国人労働者の受入と市民との交流ができるようにして欲しい。結婚・定住にもつながるのではないか。
- ② 最近はJRバスが多い。東武線は使いにくい。館林、久喜と乗り換える。
- ③ 自治基本条例を2年半かけてまとめ、ほぼ1年たっているが、どうなっているのか。
- ④ 市民病院については、民間に頼んで経営を進めて欲しいとの意見と、経営体制をしっかりとってから渡すべき、との意見がある。

【葛生会場】

(1)人口減少対策について

- ① 女性を増やすべき。女性が住みやすい佐野市をめざし、出産、育児がしやすい環境をつくることを最優先に取り組む。
- ② 太田市は第3子以降の支援に力を入れている。ならば、佐野市は第2子からの支援を、出生率の向上を。
- ③ 希望の保育園に預けられない現状を解消すべきである。(生活の拠点から近い)
- ④ 3世代型の家族の推進が必要である。
- ⑤ 農山村、中山間地域に人の流れをつくり、早急に人口減少を抑える政策を講じるべき。

現在、地区・地域が分断されてコミュニティがなくなっている。とても悲しいことであり、ひいては人口減少にもつながっていると思う。

(2)自由討議

- ① 田沼、葛生地区の中山間地域の空き家が最近は増えている。空き家対策について行政で早急に対応して欲しい。
- ② 中山間地域では働き場が少なくなっている。昔は林業が盛んだった。今後は地域性を活かした産業振興、特に農業振興、林業振興を進めていく対策が必要である。
- ③ 地元雇用の企業が減ってきている。若い世代の人たちが他市、他県へと働きに出ており、消防団の入団者が減ってきている。また、地域・地元でのイベント、お祭り等の担い手が不足している。60歳代から70歳代の人たちが中心で行われている。